

# 卒業論文及び修士論文を書くにあたって

香川大学大学院 工学研究科 博士前期課程 信頼性情報システム工学専攻 修 士 論 文			
修了年度		令和元年度 (2019 年度)	
指導教員		香川 次郎	
審査 担当 教員	主査	香川 次郎	
	副査	高松 花子	
		電子 正夫	

香川大学大学院 工学研究科  
博士前期課程 信頼性情報システム工学専攻

情報 太郎

令和 2 年 2 月 8 日

This is the English Title.

**Abstract** This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract.  
This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the  
abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract.  
This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the  
abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract.  
This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract.

[illegible]

キーワード keyword, keyword, keyword, keyword, keyword, keyword

# 目次

1 序論	1
2 論文を書く上での諸注意	4
2.1 さぶせくしょん . . . . .	4
3 結論	5
謝辞	6
参考文献	7
付録 A プログラムの全ソース	8
A.1 ファイル名 . . . . .	8
索引	9

# 第 1 章

## 序論

序論を書いてください。

[illegible]

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2  
3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3  
4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6  
7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2  
3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3  
4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6  
7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2  
3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

## 第 2 章

# 論文を書く上での諸注意

### 2.1 さぶせくしょん

卒業論文や修士論文を書くにあたって注意すべき点挙げます。

- 索引を必ずつけましょう。
- 先生方にみていただく前に，推敲しましょう。
- 参考文献の挙げる順序には，一貫性を持たせましょう。よくある例としては以下のようなものがあります。
  - － 論文中での出現順
  - － 参考文献の筆者の名前順
  - － 参考文献の出版年月順
- 参考文献の挙げたものは，本文中で言及しなければいけません。
- 参考文献の例 [1]。

## 第 3 章

### 結論



## 謝辞

謝辞はお世話になった人へ感謝の意を述べる大事な章です。先輩の論文のコピペではなく、論文作成に協力を頂いた方等への感謝の気持ちを、自分の言葉で簡潔にまとめて書きましょう。ただし、くだけ過ぎた文章は良くありません。論文にふさわしい文章となるように気をつけましょう。対象は、研究指導を担当してもらった先生（指導教員、主査、副査）、アドバイスを頂いたそれ以外の先生（研究会などで重要な意見をもらった他大学の先生含む）、研究協力をして頂いた人たち（先輩、後輩、同期等）です。

## 参考文献

- [1] 著者, “論文タイトル,” 出典, ページ, 年.
- [2] 著者, “本タイトル,” 出版社, (通巻,) 年.

## 付録 A

# プログラムの全ソース

### A.1 ファイル名

% ソースの実体

# 索引

索引, 4